

平成20年度 第2回いすみ市地域公共交通会議及び活性化協議会 会議録

日 時 平成20年8月20日(水) 午後2時00分～

場 所 いすみ市役所大原庁舎4階 議員控室

出席委員 丸 嶋 登 浅 野 和 夫 太 田 洋
奈 良 三 男 米 本 嘉 雄 花 崎 幸 一
松 本 正 明 小 池 良 一 松 本 眞
野 村 泰 信 浅 野 正 一 郎 松 本 啓 吉
北 里 健 一 星 野 敏 一

代理出席 県交通計画課 地域整備センター

欠席委員 成 田 斉 吉 田 平 國 藤 清 三 郎

関係業者 ランドブレイン(株)
(いすみ市地域公共交通総合連携計画策定調査業務契約業者)

事務局 総 務 部 渡 辺 部 長
企 画 政 策 課 江 澤 課 長 黒 須 主 査

事務局 | では、いすみ市地域公共交通会議設置要綱第6条第1項の規定に基づき丸嶋会長に議長をお願いしたいと思います。

丸嶋議長 | それでは、しばしの間、議長を務めさせていただきます。
早速、議事に入りたいと思います。議題(1)平成20年度いすみ市地域公共交通活性化協議会予算について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(説明)

丸嶋議長

ありがとうございました。ただ今、議題（１）平成２０年度いすみ市地域公共交通活性化協議会予算についての説明がありましたが、このことについて、質問等ありますでしょうか。

無いようですので、次に進みます。議題（２）いすみ市地域公共交通総合連携計画策定調査事業について、事務局の説明をお願いします。

事務局

(説明)

ランドブレイン(株)

(詳細説明)

丸嶋議長

ありがとうございました。ただ今、議題（２）いすみ市地域公共交通総合連携計画策定調査事業について説明がありました。ご質問等があればお受けしたいと思います。何かございますか。

小池委員

いきなりこのような資料を出されても分からないです。これでは会議なんて意味がない。こういうものは事前に委員には送っておいて検討するのが良いと思います。これでは意味のない会議です。時間の無駄です。

丸嶋議長

貴重なご意見ありがとうございます。事務局におかれましては、今後は注意していただくようお願いします。

また、他に何かありましたら、議題（５）その他でお願いします。

ここでランドブレイン(株)さんは退席いたします。この後、ランドブレイン(株)宛のご質問等があり、事務局で対応できなければ、後ほどランドブレイン(株)へ照会し報告することとなりますがよろしいでしょうか。

では、そういうことでよろしく申し上げます。

続きまして、議題（３）市内路線バス試行運行の実績について、事務局の説明をお願いします。

事務局

(説明)

丸嶋議長

ありがとうございました。ただ今、路線バスの実績について説明がありましたが、これについてご質問がありますでしょうか。

浅野(和)委員

例えば、60歳以上とか高校生とかの区分での実績は把握してますでしょうか。

事務局

小学生以下の「こども」と「中学生」、高校生以上の「おとな」での実績は把握してございますが、高校生以上「おとな」での年齢別の実績は把握してございません。

浅野(和)委員

わかりました。

丸嶋議長

他になにかございますか。

小池委員

計画をした時点と、これまでの乗降実績を比べるとどのくらい差があるでしょうか。

事務局

当初の計画の時点では、事業費に対して30%の収益を見込んでおりました。それに対して、路線ごとに差がありますが、現在のところ10%~14%程度の収益ですので、当初の計画の半分程度となっております。

なお、当初の計画では小学生も有料でしたが、交通安全対策の観点から実際の運行では無料といたしましたので、収益については当初の計画とは大きな差がでております。

小池委員

担当の方にお聞きしたいのですが、この実績を見て、本当のところはもう少し乗降が多いと思っていましたか。

事務局

正直に申し上げれば、当然、見込よりも少ないと思っております。

このいすみ市内はバス事業者が撤退した地域であり、さらには民家も点在していることも考えて利用は多く見込んではおりましたが、それにしても少ないと感じております。利用の少ない原因としては、経路や運行時刻などがあると思います。運行時刻については前回の会議で変更をさせていただきましたが、変更してまもなく夏休みとなってしまいましたので、変更をして利用が増えたかを判断するには9月からの実績を見てからになると思います。

また、先ほども説明いたしましたが、運行開始当初の12月の実績が3,140人で、現在までで利用が一番多かったのが6月の4,855人ということで、だいぶ利用人員は増えてきてはおりますが、まだ若干少ないと思っております。

丸嶋議長

よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。

奈良委員

この実績は公表しておりますでしょうか。

事務局

毎月ではありませんが、広報誌に掲載して公表しております。

松本（啓）委員

利用者の少ない路線がありますが、運行を改善することにより利用者を増そうと検討したことはありますか。

また、色々と対策を講じたが、どうしても利用者が増えず廃線せざるを得ないところもあると思いますが、地元との意見交換などで利用のお願いをするといったご努力をされたりしたのでしょうか。

事務局

運行の見直しについては今年の6月16日に時刻改正を実施いたしました。その際、夷隅線については減便することとなっておりますので、夷隅地域の役員会で区長の方々にご意見を伺いました。岬地域につきましては、若干ではありますが利用者が増えてきているということで、運行についての変更は行っておりません。運行開始当初に、いすみシャトルバスへの接続の要望がありましたので、バス同士の乗

り継ぎがどのくらい需要があるのか実績を見させていただいております。

夷隅線の減便につきましては、おとなの利用者が非常に少なかったために小学生の通学時間帯のみの運行にさせていただいております。

丸嶋議長

よろしいでしょうか。他に何かございますか。

特にないようですので、次に、議題（４）市内路線バス試行運行期間終了後の対応について、事務局より説明をお願いします。

事務局

議題（４）市内路線バス試行運行期間終了後の対応についての資料は用意してございませんが説明をさせていただきます。

市内路線バス試行運行期間、昨年１２月から本年７月までの各路線別の利用状況につきましては先ほどご報告させていただいたとおりでございますが、試行運行期間が終了する本年１２月以降のバスの運行につきましては、試行運行期間中の利用実績などを考え合わせまして、庁内の関係部署の意見などを聞きながら検討をしております。

その結果についてでございますが、旧３町を結ぶ基幹路線であります市内循環線の内回り、外回りは先ほども申し上げましたが、利用者が増加しております。また、従前より運行しておりました、大原巡回バスの東線、浪花線、大原線、東海線、大原国吉線、布施線ですが、昨年１２月に試行運行を開始して以降、若干、利用者が増えてきております。今申し上げました市内循環線、大原巡回バスにつきましては平成２０年１２月以降も運行を継続したいと考えております。

一方、主な利用者は小学生のみとなっております夷隅巡回バス夷隅線と、１便あたりの利用者が１人しかない状況の岬巡回バスの古沢線、音羽線ですが、利用者の少ない状況でございますので、試行運行期間が終わります平成１９年１１月３０日をもって運行を終了したいと考えております。

なお、夷隅と岬の３路線を廃止することによりまして、これまで利

用してくださった方につきましては大変不都合となってしまいますが、この3路線は利用者が少なく、これからも利用が伸びないと思われる状況ですので運行の終了についてご理解をいただきますよう、よろしく願いいたします。

また、廃止を考えております夷隅線を利用する小学生につきましては、試行運行開始前と同様に夷隅地域の各保育所の園児送迎バスの利用によりまして対応していただく予定で教育委員会と協議をさせていただいております。

今回の運行見直しと併せまして現在運行中の福祉タクシー制度の見直しを行っていただき、より利便性の高い充実した制度となるよう、担当課と検討しているところでございます。

また、今年度のバス運行に係る予算につきましては試行運行期間であります11月までしか確保しておりませんので、9月に開催されます議会の定例会において補正予算の提案を行い、可決いただいた上で、市内循環線と大原巡回バスの各線を12月以降も運行させていただきたいと思っております。

今後については、路線の変更は基本的には行わない予定でございますが、停留所の追加や運行時間の見直しなどの検討をいたしまして、再度、交通会議を開催し皆様のご意見をいただき、協議しながら12月以降の運行について決定をしていきたいと考えております。

丸嶋議長

ありがとうございました。ただ今説明がありましたとおり、利用者の少ない夷隅巡回夷隅線、岬巡回古沢線、岬巡回音羽線については試行運行期間終了後は廃止し、夷隅地域の小学生の通学については試行運行開始前の方法により送迎を行うとのことでした。

この件について、検討したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

ご意見、ご質問等ないようですので、議題(4)市内路線バス試行運行期間終了後の対応については、ただ今事務局より説明のありましたとおりの取り扱いとすることについてご意見ございませんか。

一同

異議なし。

丸嶋議長

「異議なし。」のお声がございましたので、本件は事務局の提案のとおり決定をさせていただきます。ありがとうございます。

つづきまして、議題（５）その他について、何かございますか。

事務局

7月16日に新潟県上越市の議会から総務常任委員会の議員の方々、事務局を含め13名が市内交通に関しての行政視察にいらっしゃいましたので、ご報告させていただきます。

丸嶋議長

他になにかございますか。

花崎委員

12月以降も継続運行する路線についても、まだまだ利用が少ないと思いますので、シャトルバスとの乗り継ぎ券など利用促進についてもっと取り組んでいくべきであると思います。

丸嶋議長

では、事務局においては次回の会議までに利用促進について考えていただくようお願いします。

他になにかございますか。

小池委員

今日の会議でとても良い報告をいただきまして、すばらしい運行計画であると思いました。しかしながら、いすみ市では高齢化が進んでおり、高齢者の方々は、いざバスに乗ろうと考えても身体が言うことを聞かない等があるので、そのような事も十分に考えた上でこういう計画を作っていただきたいと思います。当然考えていただいていると思いますが、高齢者の中には一人でバスに乗るのも大変で、外出することも控えてしまう方が増えているようです。そういう現実がありますので、高齢者の方でも乗りやすいバスを導入するという事も検討いただきたいと思います。

事務局

昨年の12月から既存路線に加え新設路線を設定し試行運行として運行してまいりました。残念ながら利用者の少ない路線もありましたが、実際に走らせたことにより一歩進んだ検証が出来たと言えると思います。

ただいま、小池委員がおっしゃられましたが、交通弱者とは必ずしも高齢者とは限らず、若くしても身体障害者や介添えが必要な要介護者もいらっしゃいます。この件につきましては、福祉課の方が所管となっております「福祉タクシー制度」があり、利用者は増加傾向にある状況です。また、夷隅地域におきましてはデマンド方式による乗合タクシーも運行しております。

しかしながら、交通弱者の足を完璧に確保するのは難しい問題であります。市といたしましては、よりよい市内交通運行に向けて考えていきますので、皆様のお力添えをいただきたくことになると思っておりますがご了承賜りたいと思っております。

丸嶋議長

他にございますか。

米本委員

いすみ警察署交通課の米本でございます。

ただいま、高齢者対策についてお話がございましたが、同じく高齢者対策として私のほうからお願いがありますので申し上げます。

現在、千葉県警察では交通事故抑止対策として高齢者対策があげられております。いかに高齢者の足を公共交通に移行させるかということで、高齢者の運転免許返上制度がありますが、運転免許返上が進んでおりません。運転免許返上が進まない理由の一つに、足の確保が問題となっております。

今回のバス試行運行におかれましては、障害者等への優遇措置がありますが、できればこの中に運転免許返上者への優遇措置というものを盛り込んでいただければと思っております。

高齢者対策の一環として、ご配慮たださるようお願いいたします。

事務局

ただいまの高齢者における運転免許返上者への優遇措置ですが、本年12月以降の運行におきまして、運転免許返上者の運賃の割引きを現在検討しております。

米本委員

このいすみ警察署管内における運転免許返上者は昨日現在で、9名でございます。運転免許を返上された方には、運転経歴証明書という運転免許証と同じ大きさの証明書を発行しております。

丸嶋議長

他になにかございますか。

ないようですので、長時間にわたるご審議ありがとうございました。

本日の議題につきましては、すべて終了いたしましたので、議長の職を降ろさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。